



# かごしま 市民のひろば

## 安心安全 特集号

市民のひろばは点字版・音声  
テープ版も発行しています。  
配布を希望する人は広報課へ

2011年(平成23年)

### 安心して安全に暮らせる防災都市づくり

家庭や地域で、風水害や地震、火山噴火などの自然災害や事件、事故の未然防止などを考えるために、この特集号をご活用ください。



4月27日に実施した防災点検では、3月11日に発生した東日本大震災の津波による大きな被害を踏まえ、市内の防潮扉や防波護岸の現況確認などを行いました。(写真は城南町の鹿児島港新港区防波堤)

#### 地震と津波 日ごろの備えと発生時の行動を考えよう

東日本大震災では、地震だけでなく、直後に沿岸部を襲った津波で、想定を超える甚大な被害が出ました。地震はいつ起こるかわかりません。地震や津波のことをよく知って、災害から身を守りましょう。



鹿児島市でも大きな地震や津波が起きる可能性があるの？



大正3年の桜島の大噴火に伴い、マグニチュード7.1、震度6弱程度の地震が発生しました。また鹿児島湾内で最大2.4mの津波も観測されています。本市でも地震や津波が発生する可能性があるため、十分な注意が必要です。今回の震災を受け、市では地域防災計画について市独自で見直しを進めていきます。



地震や津波から身を守るためにはどうしたらいいの？

地震発生時の行動は **図** のとおりです。津波は「津波注意報・警報」が出る前に到達することがあります。地震を感じたら、海岸から「より遠い」場所ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。また津波は繰り返してきます。警報や注意報が解除されるまでは避難場所を離れないようにしましょう。



今すぐできる地震の備えはありますか？

寝室や子ども、お年寄りのいる部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。また、家具は転倒防止器具で固定しましょう。安全に避難できるように、出入口や通路に物を置かないようにし、非常持出品はわかりやすい場所に1カ所にまとめて置きましょう。建物の耐震診断や耐震改修への補助もあります。



#### 地震発生時の行動マニュアル

■地震発生



机・テーブルの下に隠れるなど、まず身を守りましょう。

■発生後5分～



みんなで協力して、消火や救出救援活動を行いましょう。

■発生後1分～5分



揺れがおさまったら、火の始末やガスの元栓を閉めて、安全な場所に退避しましょう。またラジオなどで正しい情報を集めましょう。

#### ■建物の耐震診断・耐震改修への補助制度

- ◇昭和56年5月31日以前に建てられた木造戸建住宅の耐震診断・耐震改修を行う所有者に対し費用の一部を補助します
- ◇補助額 耐震診断は費用の3分の2以内(限度額3万円) 耐震改修は費用の3分の1以内(限度額30万円)
- ◇詳しくは建築指導課216-1358へ

■自宅の耐震改修にご活用を  
自宅の耐震改修に向けて、より専門的な診断を行うときの参考に「誰でもできるわが家の耐震診断」をご活用ください。建築指導課と各支所で配布しています

